



～情報提供の巻～

情報発信する北京事務所

(財)自治体国際化協会北京事務所所長補佐 桑本 祥代 (島根県派遣)

北京事務所では、広報及び情報発信を日中地域間の交流を促進する重要な手段として考えており、日中双方の関係者への情報発信を強化しているところです。

情報発信手段を多様化させ、発信先の拡大を狙うなど、最近の当事務所の取り組み状況を紹介します。

中国の情報を日本へ発信すること

1. 役立つ情報はホームページに

まず日本への情報発信として、ホームページの充実を進めています。「初めて国際交流担当になった人が配属後すぐに役立つような情報」という視点で中国の情報を掲載しています。

例えば、「中国の交流先から主任の表敬訪問が決まったけど、わが自治体はどの役職が対応したらいいのだろうか?」「国際交流の窓口は外事弁公室のようだが、地方政府の組織はどうなっているのだろうか?」こういった疑問が解決できるような中国の行政制度が把握できるような情報を更新しています。

(アドレス <http://www.clair.org.cn/>)

2. 自治体と報道機関との橋渡し役

自治体が北京でどのような活動をしているのか、それを日本の地元住民に伝える手段として報道機関との連携は欠かせません。自治体と北京にある報道機関との橋渡しをできないか、という観点から報道機関向けメルマガを配信することにしました。自治体が行うイベントの情報を事前にクレアに提供すると、新聞を通して地元住民にも伝わる、という流れを目指しています。

最近の中国に関する報道と言えば、日中地域間交流の縮小、大気汚染などマイナス面が強調され

る傾向にあります。それだけではない日中間の交流情報を得ることで、相互理解も深まるのではないのでしょうか。

日本の情報を中国へ発信すること

北京事務所では、従来型の情報発信だけではなく手段や発信先を多様化させています。

当事務所スタッフのみでの情報発信には質、量ともに限界があるのが正直なところです。そこで設立以来培ってきた、中方機関、在中国日方機関とのネットワークをわれわれの外部資源ととらえ、関係機関とのネットワークを最大限活用し情報発信していくこととしました。

1. 発信手段の多様化 ラジオ放送で自治体をPR

今年度からは中国国際放送局 (CRI) というメディアと連携し、インタビュー形式で日本の自治体を紹介しています。CRIラジオ放送の月1回のコーナーに「加油!日本の自治体職員在中国(加油は“がんばれ”の意)」を新設していただき、クレア職員はもちろん、クレアが仲介して在中国自治体事務所職員が出演して地域の魅力を語っています。

中国でがんばっている自治体駐在員の夢や思い、ガイドブックにはない観光情報などをプロのインタビュアーが聞きだすことで、紙面での一方的な

情報提供よりもさらに情報が伝わりやすくなっていくように感じます。インターネット放送もありますので、一度聞いてみてください。

(CRIオンライン <http://japanese.cri.cn/index.htm>)

2. 発信手段の多様化 北京大学で講義を行う

北京大学政府管理学院の白副教授の提案により、大学との連携強化事業として始まりました。同副教授の比較行政研究の講座において、日本の地方自治制度や自治体の施策事例を紹介することで、同学院の研究に貢献する一方、日本の地方自治体への理解を促しており、両者はwin-winの関係にあると言えます。

テーマは中国でも関心が高い環境施策や高齢者福祉施策、民間団体との協働、地域資源を生かした地域振興策など多方面にわたっています。これもクレア職員だけではなく、自治体事務所の協力を得ることでより詳しい情報を提供してきました。先日は湖北省に駐在している滋賀県の小久保駐在員が「琵琶湖を中心とした水環境への取り組み」について講義しました。こちら外部資源を大いに活用した情報提供と言えます。



パワーポイントを用いた講義の様子

さすがに中国屈指の名門校である北京大学の学生ですので、講師への質問はやみません。事前準備は大変ですが、今後の中国を担う学生の皆さんに日本の自治体を知ってもらう貴重な機会として最大限に生かしていきたいと考えています。

発信先の拡大 微博（ウェイボー）を使ったPRをスタートします！

中国の中央政府、地方政府はもちろん、日本の数多くの自治体も行っている微博でのPR活動ですが、遅ればせながら北京事務所もスタートすることにしました。

ご存じの方も多いと思いますが、微博は「ミニ(微)ブログ(博客)」のことで、中国版twitterと言われており、3億人以上の人が利用しているツールです。日本での公的機関の情報提供はやや一方的になりがちのきらいがありますが、中国では返信やコメント機能を活用し、住民からの情報に自治体が応えるといった双方向の交流が一般的です。転送機能により情報を拡大させることも可能であり、これまで情報発信先としてあまり意識されていなかった一般市民への日本の地域情報をダイレクトに伝えていく予定です。



微博トップページ <http://weibo.com/u/3782790590>

さいごに

クレア活用と言うと、訪問先との調整やアテンドを思いつかれるかもしれませんが。北京事務所の広報・情報提供の見直しはまだまだ始まったばかりですが、情報提供の分野でも活用していただけるよう強化しております。「伝えたいことがある」「知りたいことがある」こんな時にもぜひご活用ください。

お問い合わせ先

(財)自治体国際化協会北京事務所

TEL: +86-10-6513-8790

E-mail: clairbj-jp@clair.org.cn